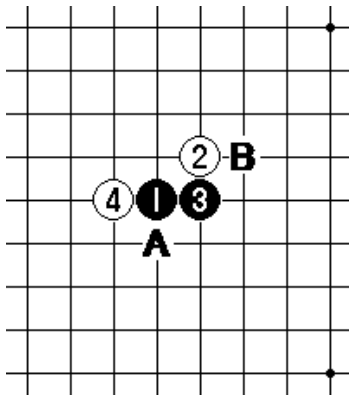


連珠っておもしろい

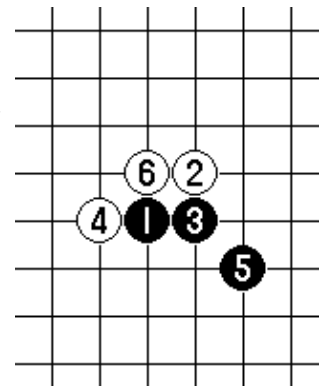
九段 河村典彦

●第26回● 黒5の探求(2)

今回も前回に引き続き、黒5の可能性を探ってみよう。今回の形は雲月での白4の強防である。

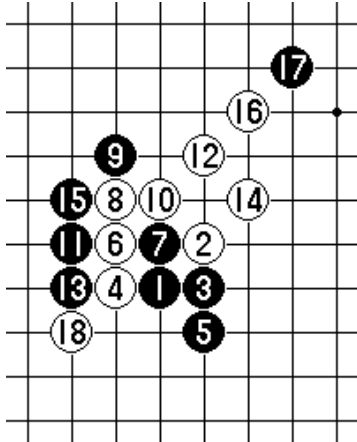


この白4は雲月・雨月では屈指の強防だが、黒5はAが定石で、二題打ちならBという情報以外はあまり知られていない。しかし、調べてみると意外と面白い。前回と違い、白2と4が離れているので黒必敗の場所が限られてくる。



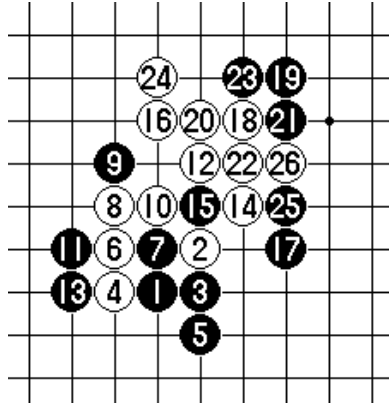
6と打って斜月と共通形(盤端が違うが)に戻すしかなさそうだ。

黒負けが確定しそうなのがこの黒5。白6と固められる手があり、これが止められない。白10までは必然だが、黒11が粘りある防ぎ

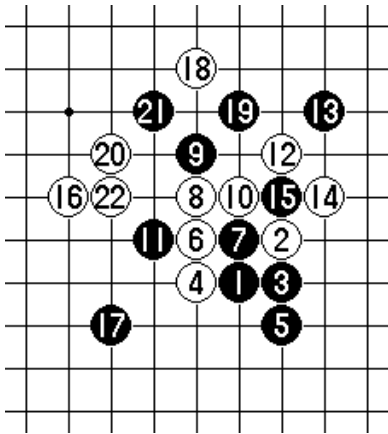


ここから簡単に勝てそうだが、案外難しい。白12と

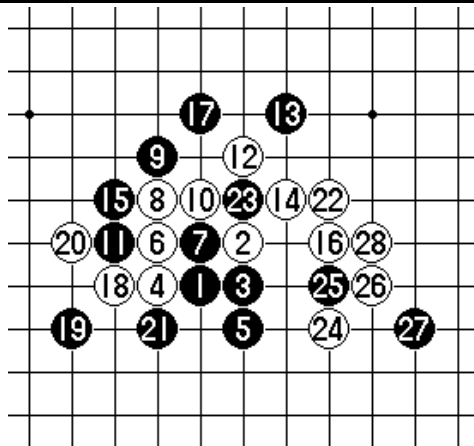
引き、黒13なら白14と打つのが筋。黒15なら白16と伸びて18と止めておき、黒は攻めも防ぎもない。



黒15を中止めなら、手順に引いていけばよい。黒17をどちらに止めてもあまり関係ない。

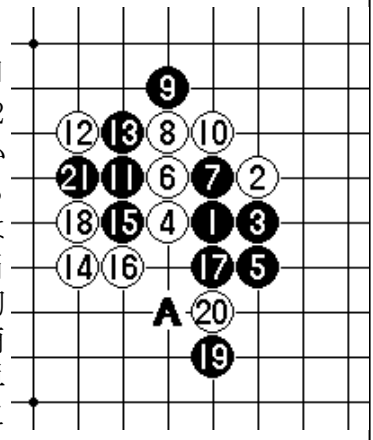


黒13の止めが普通だろうが、白14と？のトビ三を打つのが好手。黒15に止められた時、白16が必殺の一手。三々禁を逃れるには黒17しかないが、それでも三々禁にできる。

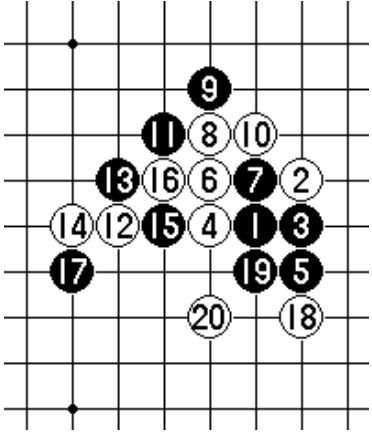


黒15は外止めしかないが、それには白16とノリ手を喰らう方にわざわざ引くのが良く、黒17に止められなくても先手を取れるので以下勝てる。

この形は面白いので、もう少し探ってみよう。

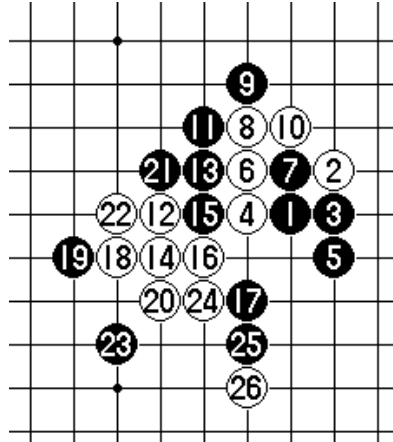


白12からは当初簡単に三々禁なると考えていたが、黒17の止めがあり、なかなか決まらない。黒5の石があるので、17でAの止めも成立する。

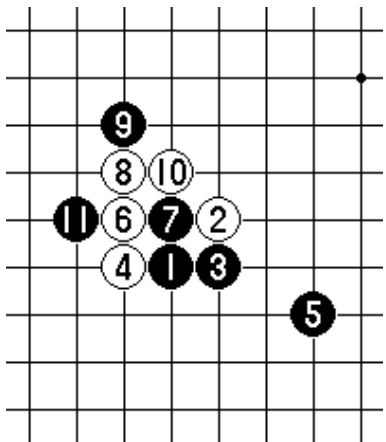


黒13と防ぐなら、今度こ

そ白14、16と狙って良い。黒17で凌がれそうだが、白18から下辺に展開すれば勝てる。

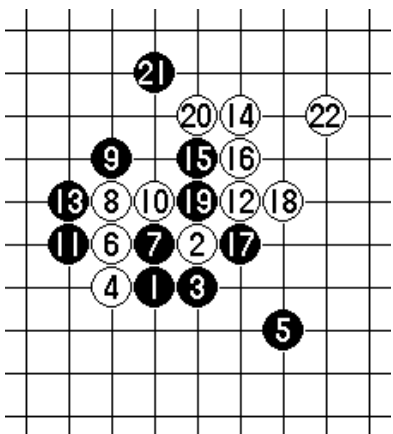


続いて、以下の展開が似ている黒5を研究してみよう。

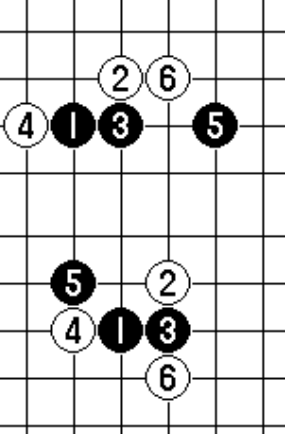


先程と同じように白10

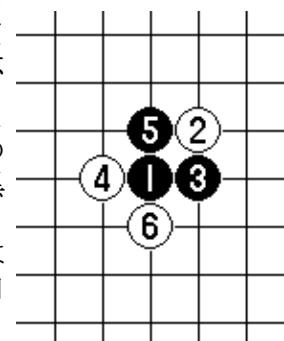
まで進めたが、黒11の止め白12から同じように引き出すと、黒5の位置が違うので右辺では勝てない。



そこで、先に白12とトビ三から打つ手を発見した。黒は13の外止めの時、白14と飛び出すことができるのが違いである。



これらの黒5なら白6で互角であろう。



また、この黒5は白6で白必勝と昔聞いたことがあるが、そう断言できるほどではなさそうだ。

この白4のまともめは左のようになる。白4のまわりに打つ手はどれも一局という感じであり、こういう所からスタートするのも面白いだろう。

